2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	北野　富美雄	実務経験とその関連資格	八尾徳洲会総合病院に薬剤師として勤務。業務は調剤(入院・外来)、臨床薬剤師として服薬指導(入院患者)　薬品管理　　薬品情報提供　　新薬治験・研究　　製剤(院内薬品)　医薬品の再評価・審査などに従事　地域の健康講座　保健活動に従事			

《授業科目における学習内容》

公衆衛生を履修することで、「 いかに人々の健康を保持できるか　健康を増進できるか　疾病を予防できるか　衛生を改善できるか 」を正しく理解することができる。将来の医療従事者にとって役に立つ。公衆衛生学は国家試験科目であるので、国家資格取得に寄与できる。

《成績評価の方法と基準》

本試験(記述形式)　70%　　出席点　20%　　授業態度　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

最新　臨床検査学講座　「公衆衛生学」　医歯薬出版株式会社　　2023年
臨床工学技士国家試験過去問題

《授業外における学習方法》

前回の問題を確認してほしい。次回(スケジュール通り)のところを予習してほしい

《履修に当たっての留意点》

わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境保健　地球環境問題　公害　大気汚染　水質汚濁　環境アセスメント　環境モニタリングなどが理解できる。	公衆衛生学の教科書と配布プリント	環境保健の予習
		各コマにおける授業予定	オゾン層の破壊、地球温暖化、砂漠化、酸性雨など地球環境の破壊の現況の理解、日本では公害、公害対策はなにか、環境対策　環境モニタリング、環境アセスメント　法律規制　SDGs環境問題などについて学ぶ		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活環境　上水　下水　食中毒　食品衛生が理解できる。	公衆衛生学の教科書と配布プリント	環境保健の復習と生活環境の予習
		各コマにおける授業予定	上水、下水の水質検査、現状　上水の改善　下水道の普及対策につて　食中毒の種類、感染型　毒素型　食中毒の現状、食中毒対策である食品衛生活動について学ぶ		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	職業病　物理的　化学的　作業条件　産業保健が理解できる。	公衆衛生学の教科書と配布プリント	生活環境の復習と職業病　産業保健の予習
		各コマにおける授業予定	職業病について　労働災害の対策　産業保健　労働安全衛生法、作業環境管理　作業管理　健康管理　労働基準法　労働衛生　トータル・ヘルスプロモーションについて学ぶ		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症　予防接種が理解できる。	公衆衛生学の教科書と配布プリント	産業保健　職業病の復習と感染症　予防接種の予習
		各コマにおける授業予定	感染症法1類～5類感染症　対策　検疫感染症　新興感染症　指定感染症　再興感染症　新型インフルエンザウイルス等感染症　感染症指定医療機関　予防接種の種類　弱毒　不活化　トキソイド　遺伝子ワクチン 学校感染症について学ぶ		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	衛生統計　人口動態統計　人口静態統計が理解できる。	公衆衛生学の教科書と配布プリント	感染症、予防接種の復習と衛生統計の予習
		各コマにおける授業予定	衛生行政　出生、死亡、離婚　婚姻　死産　など人口動態統計　人口静態統計(国勢調査)　年齢別人口　人口ピラミッド　国民生活基礎調査　患者調査について学ぶ		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際保健　WHO活動が理解できる。	公衆衛生学の教科書と配布プリント	衛生統計の復習と国際保健の予習
		各コマにおける授業予定	WHO憲章　健康の定義　WHOの活動　アルマ・アタ憲章　プライマリ・ヘルス・ケア　オタワ憲章　ヘルス・プロモーション　健康日本21　健康増進法　成人保健　わが国の死因順位について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	母子保健が理解できる	公衆衛生学の教科書と配布プリント	国際保健の復習と母子保健の予習
		各コマにおける授業予定	母子保健指標　母子保健行政　市町村の役割　母子健康手帳　健康診査(妊婦健診　乳児健診　1歳6ヶ月児健診　3歳児健診)　訪問指導　養育医療　低出生体重児　届出規定について学ぶ		
第8回		授業を通じての到達目標	疫学が理解できる。	公衆衛生学の教科書と配布プリント	母子保健の復習と疫学の予習
		各コマにおける授業予定	全数調査　標本調査　バイアス　単純無作為抽出法　層化抽出法　記述疫学　分析疫学　コホート研究　症例対照研究　介入研究　相対危険度　寄与危険度　罹患率　死亡率　有病率について学ぶ		